

「自伐型林業」が切り拓く、

山村とキミのミライ。

自伐型林業

||

びわ湖水源の森と水を守る

×

森林資源を地域で循環活用

×

田畑や木々を獣害から守る

×

過疎の村に若者が集まる

×

持続可能なローカルビジネス

||

「地方創生」のカギ！

～東草野まちづくり懇話会について～  
霊峰・伊吹山麓に位置し、びわ湖水源の  
姉川源流域に点在する甲津原・曲谷・甲賀・  
吉槻の4集落で構成される「東草野地域」で  
平成19年に発足した、地元住民有志による  
地域おこし団体です。(詳しくはWebで！)  
<http://okuibuki.wix.com/higashikusano>



東草野まちづくり懇話会では、  
平成28年度から、広く塾生を  
集めて、「自伐型林業 担い手育成  
塾」の本格開催を計画しています。  
それに先立ち、塾と地域が向かうべき  
方向を見定めるフォーラムと体験ワーク  
ショップを開催します。ぜひご参加ください。

#### ■キックオフ・フォーラム

11月29日(日) 13:30～17:30

《ゲスト》

自伐型林業のパイオニア 中嶋健造氏

古野杉の山林継承者 岡橋清隆氏

米原市 市長 平尾道雄氏

《会場》 甲津原交流センター (滋賀県米原市甲津原)

#### ■林内作業体験ワークショップ

11月30日(月) 9:00～15:00

《指導》

岡橋清隆氏 & 中嶋健造氏

《会場》 米原市甲賀地先の山林



Go! Future

参加無料

林業  
未経験者  
大歓迎!!



# 自伐型林業 担い手育成塾 キックオフフォーラム&ワークショップ

in まいばら・東草野

「自伐型林業」や「中山間地域再生」に関心がある方なら、どなたでもご参加いただけます。

■キックオフ・フォーラム 2015年 11月29日(日)

会場：甲津原交流センター 無料・申込不要 定員50名

13:30 開会 (受付 13:00 ~)

13:40 基調講演①「地方創生、中山間地域再生のカギ『自伐型林業』」 NPO法人土佐の森・救援隊 理事長 中嶋 健造 氏

基調講演②「自伐型林業展開のカギ『壊れない道づくり』」 清光林業(株) 相談役 岡橋 清隆 氏

15:45 米原・東草野地域での自伐型林業実現に向けた事業構想の紹介

16:20 パネルディスカッション「多様な主体の協働による循環型地域社会のしくみづくり」(仮)

パネリスト(予定) 中嶋 健造 氏 / 岡橋 清隆 氏 / 平尾 道雄 氏 (米原市長) / 法雲 俊邑 (東草野まちづくり懇話会座長)

17:30 閉会

【オプション】閉会后、中嶋氏・岡橋氏を囲む懇親会があります(会費制)。また、地元の民宿での宿泊も可能です(実費)。いずれも、事前申込が必要です(11/25締切)。詳しくはお問合せください。

■林内作業体験ワークショップ 11月30日(月)

無料(フォーラム会場にて申込) 定員15名

9:00 集合 ※ワークショップの集合場所は、前日のフォーラム開催時にお知らせします。2日目のみ参加を希望される方は、必ず事前にお問合せください。

ワークショップ「路線研修」 指導 中嶋 健造 氏 / 岡橋 清隆 氏

…東草野の山林に入って、最適作業道ルートを選定していく際のポイント解説を聞きながら、実際にルート選定をしていきます。

12:00 昼食休憩 (甲賀集会所)

《持ち物》昼食・飲み物・ナタまたはノコギリ(あれば)・山歩きできる服装

15:00 ワークショップ終了、解散

■お問合せ・懇親会および宿泊のお申込み

《Eメール》info@mai-energy.co.jp

《TEL》090-8533-6938 (嶋野)

《FAX》0749-58-8083

■アクセスマップ

甲津原交流センター(フォーラム会場)へのアクセス

【電車・バスをご利用の方】

JR東海道本線「近江長岡」駅 12:29 発 甲津原行きバス  
→ 甲津原停留所(終点) 13:23 着 下車すぐ

※帰りは、近江長岡駅行きバスは最終が 16:35 発、  
長浜駅行きバス(途中乗り換え)が 18:40 発

【お車で来られる方】

県道40号(山東本線)を「奥伊吹スキー場」方面へ  
(米原ICから約35分、長浜ICから約30分、  
関ヶ原ICから約35分)



■講師プロフィール



中嶋 健造 氏

1962年生まれ。高知県在住。NPO法人土佐の森・救援隊理事長、自伐型林業推進協会理事長。著書に「バイオマス収入から始める副業的自伐林業」ほか。総務省・地域の元気創造本部有識者会議委員、地域力創造アドバイザー等を歴任。

IT、経営コンサルタント、自然環境コンサルタント会社を経てフリーに。平成15年、NPO法人土佐の森・救援隊設立に参画し、現在理事長。山の現場で自伐林業に驚き興味を持ち、地域に根ざした環境共生型林業が自伐林業であることを確信し、「自伐型林業+シンプルバイオマス利用+地域通貨」を組み合わせた「土佐の森方式」を確立。真の森林・林業再生、中山間地域再生、地域への人口還流等のために、自伐型林業及び土佐の森方式の全国普及にまい進している。



岡橋 清隆 氏

1952年生まれ。奈良県橿原市在住。奈良型作業道講師。吉野林業地で代々山林を経営する清光林業株式会社相談役(創業家)。山林は約1,900haを所有し、日本を代表する林業経営者。吉野林業再生のため路網整備と直営化(自伐化)の必要性を痛感し、1979年、所有林で作業道づくりに取り組むが、大規模崩壊が発生し中断。翌年、道づくり講師として吉野を訪れた大橋慶三郎氏と出会い、師事。氏の指導のもと、自らが現場に立って崩壊地の道を修復。以来、作業道づくりの実績を積み上げ、伝統ある林業地で新しい山林経営を行っている。吉野林業の伝統である長伐期択伐施業を守り、最近の流行である高投資・高コスト型の高性能林業機械に走らず、シンプルな施業システムを長年実践し、森林経営を安定化させた。